



我が国におけるカーボンフットプリント制度
と今後の方向について

平成20年12月
経済産業省 流通政策課長 高橋直人

政府の「見える化」戦略について

- ▶ 本年6月9日の福田前総理スピーチ「『低炭素社会・日本』をめざして」、7月28日の「低炭素社会づくり行動計画」において、消費者への「見える化」としてカーボンフットプリントの制度化の推進・普及を表明。

「低炭素社会・日本」をめざして

(見える化)

自分の出す炭素に自ら責任を持つことが求められるのは、産業界だけの話ではありません。国民一人ひとりが、低炭素社会の実現に向けて、賢く、そして責任ある行動をとることが必要となります。

そのためには、CO2排出の見える化によって、消費者が的確な選択を行うための情報を提供すること、これが重要となります。(中略)

我が国としても、このカーボン・フットプリント制度などの国際的なルールづくりに積極的に関与して、そして、わが国の国内での削減を進めるために、来年度から試行的な導入実験を開始したいと思っております。そのための準備を関係省庁に指示するとともに、産業界にも協力を要請してまいります。これが軌道に乗れば、世界最大級の取組みになると期待されます。

「低炭素社会づくり行動計画」

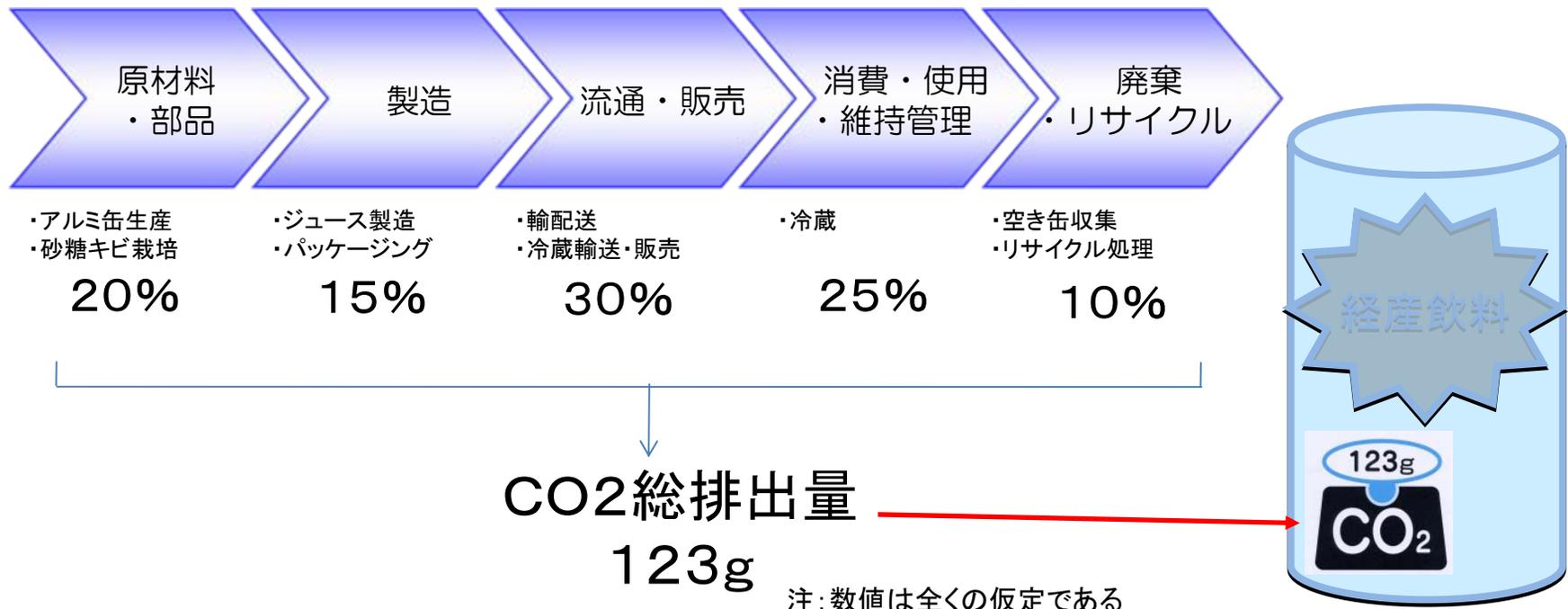
3. 見える化

(1)カーボン・フットプリント制度等の普及できるだけ多くの商品や食品、サービスにおいて、その温室効果ガス排出量等が消費者に「見える化」されることを目指す。(中略)具体的には、商品の製造や食品の生産から輸送、廃棄に至る過程や、サービスの利用に伴って排出される温室効果ガス排出量を表示するカーボン・フットプリント制度等の「見える化」について、2008年度中に排出量の算定やその信頼性の確保、表示の方法等に関するガイドラインを取りまとめ、来年度から試行的な導入実験を行うよう目指す。

カーボンフットプリント(炭素の足跡)について

- 商品のライフサイクル全般(原材料調達から廃棄・リサイクルまで)で排出された温室効果ガスをCO2量で表したもの。
- サプライチェーン全体の排出量を「見える化」することで、削減効率の高いポイントを把握。事業者単位を超えた一体的な削減対策により、全体最適化を実現。
- 消費者による消費、使用段階でのCO2排出量の自覚

缶飲料の例



カーボンフットプリント制度の実用化・普及に向けた事業スケジュール

《事業内容》

(平成20年度)

➤ カーボンフットプリント制度の在り方(指針)の策定

- カーボンフットプリントの算定・表示方法

- カーボンフットプリント制度の構築・普及に向けた課題整理

➤ PCR策定基準の策定

(平成21～22年度)

➤ 市場導入試行事業を実施、実際に店頭での流通を開始

《参加企業 30社》

【小売】

- ・イオン
- ・セブンアンドアイ
- ・ローソン
- ・丸井
- ・ファミリーマート
- ・CGC
- ・西友
- ・日生協
- ・ユニー

【消費財メーカー】

- ・サッポロ
- ・カゴメ
- ・カルビー
- ・日清食品
- ・日清製粉
- ・紀文フードケミファ
- ・ライオン
- ・パナソニック
- ・東芝ライテック
- ・コクヨファニチャー
- ・コクヨS&T
- ・コクヨストアクリエーション
- ・大日本印刷
- ・日本テトラパック
- ・東洋製罐
- ・中央化学
- ・ネスレ
- ・味の素
- ・日本ハム
- ・花王
- ・ユニチャーム

平成20年度 ※環境省、農水省、国交省がオブザーバー参加

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月～年度内

実用化・普及推進研究会

第1回 6/17 実務 WG 第2回 9/11 実務 WG 第3回 (11/14) 実務 WG 第4回 (1月)

連携

パブリックコメント
指針(案)

統一マーク発表



←合同開催→

(指針・PCR策定基準)
最終とりまとめ

ルール検討会

第1回 7/7 第2回 8/20 第3回 9/26 第4回 (11/14) 第5回 (1月)

北海道
洞爺湖サミット
7/7-9

統一マーク
審査委員会
10月28日

『エコプロダクツ2008』
12/11-13
・試作品展示
・消費者調査 等

平成21年～22年度

- 市場への流通
- ガイドラインの精緻化

カーボンフットプリント(CFP)実験・試行事業の今後の進め方

H20/12

H21/4~

第4回研究会(1月)
 ○指針内容(算定・表示方法)の決定
 ○PCR策定基準内容の決定

暫定PCRに基づく算定

研究会
参加事業者

エコリーフ
取得事業者
(エコプロ展出展企業)

エコリーフ用PCRに
基づく算定

全事業者
(上記事業者含む)

試行PCR策定WG
(関係事業者による自主開催)

指針等に基づき
各種商品毎にPCRを作成

エコプロダクツ2008
 ○CFPP試作品の出版
 ○暫定PCRの公開
 ○CFPPセミナーの開催
 ○アンケート調査

経済産業省による
CFP市場調査

参加事業者による
CFP市場調査

ISO化対応国内委員会

- ・ISO作業部会への日本代表団の派遣、サポート
- ・国内事例をもとにした我が国発言力の強化
- ・国際規格への国内意見の反映

H21年度研究会

- 指針(算定・表示方法)の精緻化
- PCR策定基準の精緻化
- 認証(*)スキームの構築
(*)企業のCFP算定能力を現地審査や事後的なサンプル調査により確認し、信頼性を確保する仕組み

試行事業により抽出した制度上の
論点・課題について研究会で検討

試行事業

(鉱工業品のPCRについては順次JIS化)

(国の支援による開催)
試行PCR策定WG

試行PCR原案の提出

PCR委員会

試行PCR認定・公開

試行CFP算定

PCR委員会

マーク付与

試行C/LD



<PCR認定スキーム/CFP算定結果検証スキーム>

【ご参考】カーボンフットプリント・統一マークについて

- 統一マークの応募総数515作品(うち小学生以下の応募3作品)のうち、3名の有識者からなる審査委員会においてカーボンフットプリント・統一マークを決定。

統一マーク表彰式(12/11)



展示ブース@エコプロダクツ2008(12/11~13)



カーボンフットプリント・統一マーク最優秀賞
(統一マーク採用作品)

